

平成21年度 第1回 富士見市公共事業評価監視委員会 会議録			
会議日時	平成21年12月16日(水) 開会 午前10時00分 閉会 午後12時00分		
会議場所	鶴瀬駅東口整備事務所 会議室		
出席委員	委員定数 4名中 4名		
出席者	委員	委員長	平井 允
		委員長代理	大澤 一
		委員	柳田 政男
		委員	横山 久恵
出席者	市職員等	(庶務担当課職員) 星野市長・関まちづくり環境部長・渡邊まちづくり環境部副部長 ・友光所長・関根副所長・平塚主査・小林主査・高野	
欠席委員	なし		
議長	平井 允	担当書記	小林、高野
会議の公開・非公開		公 開	
傍聴者の有無及び人数		0 名	

会 議 事 項

1 開 会 関 部 長

2 市長あいさつ 富士見市長 星野 信吾

3 委員紹介 (名簿順に自己紹介を行う)

4 職員紹介 (名簿順に自己紹介を行う)

5 委員長あいさつ 平井委員長

6 委員会への審議依頼 平井委員長

審議内容について、星野市長が審議依頼書を読み上げ、平井委員長へ手渡された。

この後、富士見市公共事業評価監視委員会要綱第5条第1項の規定により、委員長が議長にあたる。

7 議題

議長より本会議が原則公開であることが確認された。

また、富士見市公共事業評価監視委員会の会議の公開に関する取扱要領に基づき、本会議の受付を行ったが、傍聴者は0名であることを事務局より報告。

さらに議事録署名委員を議長とすることで承認された。

(1) 審議事項

□再評価実施事業の対応方針案について 対象事業：鶴瀬駅東口土地区画整理事業

まず事務局より本日の進め方及び審議内容について説明。順次、別添資料に則り、資料1「公共事業の再評価実施について」と資料2～9の「鶴瀬駅東口土地区画整理事業の事業概要」と資料10の「評価概要資料」についてを事務局より説明。説明の中で一部資料の訂正をお願いした。

会 議 事 項

質疑応答

委員：今回の事業に伴い、鶴瀬駅の位置は動くのか？

担当：駅舎は区画整理事業区域外で、今回の事業の中では駅の位置は動かない。

委員：駅前広場整備費用について鉄道会社の負担はどうか？

担当：建・運協定では、旧国鉄に対して1／6の負担を求められるとある。当地区では私鉄であるが、駅前広場の1／6相当の土地を換地不交付扱いにしたことで負担してもらった。なお駅前広場の整備は市の事業で行う。

委員：12ha全体のまちづくりの中で、東西方向の道路網は考慮しているのか？特に8m道路などは地区外との接続を考えているのか？

担当：現道に接続する区画道路については考慮している。一体的な整備が必要と認識している。

委員：まちづくり協議会の地区計画部会で、地区施設の具体的な話は出ているのか？

担当：整備型の地区計画をイメージしている。研修や勉強会等を行っているが、なかなか難しいと思う。ただ協議会内では整備の必要性を認識してもらっている。

委員：最近は公共事業の必要性が問われ始めている。その中で国や県の予算の状況も厳しいと聞く。当地区は移転が半分、進捗率3割程度進んでいるが、もし国や県の補助がなくなったとき、市単独で事業を進められるのか？

担当：公管金については協定を締結し、予算の確保に努めている。それ以外の市単独費については、今後区画整理事業に対する補助の導入を考えている。いずれにしても本市の中心的な幹線街路の整備事業でもあり、財源を確保し、早期完成を目指したい。

委員：西口地区では事業が遅れば便益の損失が出るという話があった。当地区でも1年遅ければ便益に損失が出ると思うが？

担当：市の実施計画の中で、計画的な建物移転の実施と予算確保に努めている。なお、鶴瀬駅東通線については建築基準法42条1項4号道路の指定をした。

委員：現在の事業計画のなかでは公管金だけなのか？

担当：駅前広場と東通線に係る公管金のみである。

会 議 事 項

委員：この先、市の負担額が相当大きくなると思われる。減価補償した影響もあると思うが、いかに効率的に事業を進めていくのが課題ではないか。地元の調整や交渉も予算確保次第の部分もある。

委員：平成30年度までの事業期間であるが、再度の延長は考えているか？

担当：事業費ベースでの進捗率は3割程度であるが、当地区は申し出換地を実施し、換地については地権者の理解が他地区よりはある。地権者の協力も得ながら、あと10年で終わるよう努力する。

委員：24年度当初の駅前広場の一部暫定開放とは？

担当：駅前広場のうち、銀行と病院等を除く部分で暫定的に開放を目指している。

委員：駅前広場で車が回転できないとの苦情がでるだろう。そうならぬよう対応して欲しい。

担当：考えていく。

委員：銀行や病院の移転はいつになるのか？

担当：病院については、市の実施計画の中では24年度に予定している。現在は病院の換地先が使えるよう関係地権者の移転を進めている。

委員：この先、建物移転が大規模化し、大きな課題になるように思うが。

担当：病院や銀行以外にも2、3棟以上はある。

委員：商業系の用途地域はどこになるか？また、8m道路に歩道はつくのか？

担当：8m道路より南側のエリアが商業地域。8m道路に歩道の予定はない。

委員：施行区域を約5haにしたことで、公共施設の確保がより大変になったと推察する。そのためか市のメインの駅で駅前広場の面積が一番小さくなっている。

(2) その他

特になし。

事務局より、次回の委員会では、費用便益について具体的な審議をお願いしたいと説明。

会 議 事 項

□次回の日程調整

第2回委員会は平成22年2月3日（水）午前10時から、鶴瀬駅東口整備事務所で開催に決定。

8 現地視察 （議事終了後、委員全員で現地視察を行った）

9 閉会 渡邊副部長